

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 20年11月18日

【評価実施概要】

事業所番号	0770600328		
法人名	医療法人 慈誠会		
事業所名	グループホーム ヨッシーIV		
所在地	975-0034 福島県南相馬市原町区上渋佐字北谷地1-8 (電話) 0244-24-6800		
評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなのビル302号室		
訪問調査日	平成20年10月17日	評価確定日	平成20年12月10日

【情報提供票より】(平成20年9月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	17人, 非常勤 人, 常勤換算 17人

(2) 建物概要

建物構造	木造在来工法 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	光熱水費9,600円
敷金	有()円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000円

(4) 利用者の概要

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	9名	要介護4	2名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 87.9歳	最低	77歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 青空会 大町病院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園風景の中の広大な土地に同一法人の老健、居宅支援、訪問看護、グループホーム(2棟)があり、近隣には住宅が少なく地域との交流には厳しい立地条件であるが、本年1月に運営推進会議を立ち上げ、各委員の協力を得て急速に地域との交流が進んできている。近隣住民に認知症が理解されてなく、閉鎖的な施設となっていたが、今では地域へ開かれた施設となっており、地域の方々が自由に訪ねてくれることにより、利用者の表情も明るく違和感なく自然に接している。管理者はじめ職員は「待っているだけではなくこちらから働きかけていくことの重要性」を認識し、さらに地域に根ざした事業所となるよう努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価後、運営推進会議の設置を最重要課題として取り組み、市、地域包括支援センター、区長等の協力を得て運営推進会議を立ち上げ、活動を展開している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は日ごろのサービスの見直しの良い機会と捉え、全職員で取り組んでいる。また、外部評価の結果を法人や管理者職員全員で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
	運営推進会議の設置目的、組織基準等を盛り込んだ要綱を設け、委員を選任し委嘱状等を交付して第1回運営推進会議を本年1月に開催した。開催時期は2ヶ月に1度奇数月とし、現在まで5回に開催している。委員は市の担当者、地域包括支援センター職員、地区長、地域住民代表、利用者家族等で構成され、内容は利用者の状況、行事報告、地域行事への参加等であり、回を重ねるごとに理解が深まってきている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	月1回利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等を手紙で知らせている。行事は年4回発行の広報紙等で報告している。また、家族会の開催時に意見交換を行い、意見や苦情の把握に努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進委員の協力により日常的に地域との交流が出来てきており、近隣住民から野菜等の差し入れもある。また、南相馬市社会福祉協議会からの要請で「サマーショートボランティアスクール」で学生の受け入れ等も積極的に行っている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスを踏まえた理念を作り上げている。また、ユニットごとに独自の理念を作成し、その実践に取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々職員が目にする業務日誌や申し送り書等の表紙に理念を記載し、共有に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進委員の協力で地域の行事への参加の機会が増えている。また、近隣の農家から米や新鮮な野菜の購入等地産地消の取り組みも始まっている。なお、市からのキャラバンメイトの講師やボランティアの受け入れの要請等にも対応している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組んでいる。外部評価の結果を全職員で検討し、改善に向けて具体的に取り組み、改善している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業所の活動や利用者の状態等を報告している。回を重ねるごとに委員からは様々な意見や提言があり、地域ボランティアの受け入れや地域防災訓練に事業所も参加させてもらえるようになるなど、運営推進会議の意義が活かされている。		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、利用者の状態や金銭管理等の報告をしている。また、状態の変化があった場合や通院の報告等は電話で随時報告している。また、家族会の面会時などを利用して詳細に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時に家族からの要望や苦情を把握するように努めている。家族からの要望等は会議を通じ運営に反映させる体制となっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員の異動が利用者にも与えるダメージが大きいことを認識しており、法人内の異動についても配慮してもらっており、ここ1年は異動していない。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修や外部の研修会には交代で参加できる体制となっている。また、職員も資格取得に意欲的であり、真剣に取り組んでいる。資格取得後は待遇に反映させる体制となっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福島県認知症グループホーム連絡協議会の研修会に参加し、情報交換をしている。また、近隣のグループホームとの交流を通して、サービスの向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活経験を大切にし、利用者の得意なことを教えてもらいながら、共に支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者へのさりげない言葉かけをしながらできることしたいことを把握し、希望にそった支援に努めている。意思表示の困難な利用者には表情や行動観察等から把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を取り入れた計画となっている。毎月の検討会議には利用者の希望を踏まえ、職員の意見等を出し合い利用者の状況にあった介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に評価を行い介護計画の見直しを行っている。また、利用者の状態の変化に応じて随時見直しをしているが長期短期の目標期間の設定が明確にされていない。	○	短期目標の期間設定については、利用者それぞれの状態に応じた期間設定が必要であり、その期間の評価と見直しを実施されることが望ましい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診の支援をしており、受診には家族の同行を原則としているが、家族の都合によっては職員が対応している。受診後は家族に報告し情報の共有をしている。また、緊急時には協力医療機関の受診について家族の同意を得ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所として重度化と終末期の方針を定め、ターミナルケアの実施について検討中であり、入居時に利用者や家族に説明しているが「重度化や終末期の意思の確認書」等は作成されていない。	○	医療連携加算体制を整備されている事業所であるので、重度化や終末期に向けた事業所の方針を利用者や家族に説明し、意思確認書等により利用者や家族の意思の確認をされることが望まれる。なお、職員間でも方針の共有をされることが望ましい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを尊重し、誇りを損ねないよう言葉遣いに充分留意し接している。個人情報の取り扱いも適切に行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の状態や希望に応じて、日々の暮らしの支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は利用者の状態に応じて、盛り付け、配膳等自然と役割が出来ている。職員も一緒に食卓を囲み、会話を楽しみながらさり気なく見守り、楽しい食事風景となっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる体制となっており、希望に応じて支援しており、入浴拒否者はいない。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	野菜づくり、ガーデニング、大工仕事、編物、裁縫等利用者の趣味ややりたいことが継続できるように支援している。利用者の中には水道、電気、ガスのメーター検針を日課としている方もおり、持てる能力を発揮できるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	日常的に散歩や買物に出かけている。また、外食、ドライブ、お花見、白鳥見学、海水浴、紅葉狩り、日帰り温泉等外出の機会を多く企画し全員で出かけている。また、家族の協力で自宅訪問やお墓参りも実施している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の鍵は施錠していない。職員が見守りで対応している。以前は利用者が道路を歩いていると「一人では歩かせないで」「外に出さないで」等苦情が寄せられたこともあったが、今では近隣の方にも理解され気軽に声をかけてもらっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人全体で年3回防災訓練を実施しており、内1回は事業所を主体に実施している。法人の防災管理者と職員で組織している防災チームが連携し、あらゆる場面を想定して災害対策に取り組んでいる。		運営推進委員の協力を得て、地域の方々に災害時の協力が得られるような体制の整備が望まれる。また、事業所独自で災害時の食料品等の備蓄が必要と思われる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事や水分の摂取量については、チェック表に記入し把握している。利用者の状態に応じてトロミ食や刻み食等にも配慮しており、献立は法人内の栄養士に見てもらい、カロリーや栄養バランスについても配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広く天窓からの採光で明るく、温度も適温に保たれている。テーブル、ソファ、畳敷きのスペース等が機能的に配置され、利用者は思い思いの場所で自由に過ごしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全居室の窓から田園風景が望め、落ち着いた雰囲気である。利用者は使い慣れた家具やCD、アルバム、愛読書、仏壇等を持ち込みそれぞれが居心地よく過ごせるようになっている。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム ヨッシーⅣ

記入担当者名 大井 千加子

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。